

対象工事番号	☐	☐	☒	☒	☒	☒	☐	☒	☒	☐
--------	-----------------------	-----------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-----------------------	----------------------------------	----------------------------------	-----------------------

完了チェックリスト

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

完了実績報告チェックリスト

申請者	氏名又は法人名	工事発注者	(担当者)	連絡先	TEL
事務連絡先	氏名又は法人名	事務連絡名	(担当者)	連絡先	TEL

↑日中に連絡が取りやすい電話番号

提出書

「交付決定通知書」に記載の工事番号を入力して下さい。

提出する必要書類にチェック ☒ 提出の必要がない不要書類に斜線 ☒

番号	種別	完了様式番号 添付書類	書類名称	送付する書類に必ずチェックして下さい。	申請者	支援室
1	必須	完了チェックリスト	完了実績報告チェックリスト			
2	必須	1-1, 1-2	完了実績報告書			
3	該当者	添付①	事務連絡先の本人（実在）確認ができる書類	交付申請から変更した場合		
4	該当者	添付②	建物所有者の本人（実在）確認ができる書類	交付申請から変更した場合		
5	該当者	添付③	サブリースに係る確認書			
6	必須	2-1	改修工事等証明書	A 又は B を作成		
7	必須	添付④	支払を証する書類			
8	対象工事	2-2(1)、(2)	改修工事の内容：空家等	対象の住戸ごとに作成		
9	対象工事	2-2(3)、(4)	改修工事の内容：共用			
10	対象工事	2-3	施工証明書	証明が必要な対象工事のみ作成		
11	対象工事	添付⑤	性能を証明する書類	証明が必要な対象工事のみ作成		
12	対象工事	2-4	工事写真	対象工事の該当ページを作成		
13	対象工事	添付⑥	検査済証の写し（検査済証が交付される場合のみ）			
14	必須	2-5	確認書（建築士による実施工事内容の適合確認）			
15	必須	添付⑦、⑧	建築士の免許証の写し及び、印鑑証明書の写し	交付申請から変更した場合		
16	該当者	添付⑨	建築士事務所登録免許証の写し	交付申請から変更した場合		
17	必須	3-1～3-3	改修工事後の対象住戸概要書	対象の住戸ごとに作成		
18	必須	添付⑩	あんしん住宅情報提供システム登録内容を出力した書類			
19	入居決定	4	入居者決定報告書	入居者が決まった場合		
20	入居決定	添付⑪	賃貸借契約書の写し			
21	入居決定	添付⑫	転居後の住民票の写し			
22	入居決定	添付⑬	収入の確認書類の写し、年間所得金額計算シート、控除額計算シート			
23	入居決定	添付⑭	属性の確認書類の写し			
24	必須	5	支払い請求書			
25	対象工事	6	耐震改修工事証明書（建築士による耐震証明）			
26	対象工事	添付⑮、⑯	（耐震改修工事を証明した）建築士の免許証の写し及び、印鑑証明書の写し			
27	対象工事	添付⑰	（耐震改修工事を証明した）建築士事務所登録免許証の写し			

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式: 1 - 1】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

申請日: 平成 ○ ○ 年 × × 月 ○ ○ 日

住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業実施支援書 宛

住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業実施支援書 宛

1. 対象建物情報の登録について

対象建物	名称・棟番号	○○○○○○○									
	住所 〔都道府県名より記入して下さい。〕	〒	1	7	1	-	0	0	2	2	
協議会	名称（都道府県・地区）	東京 都・道 豊島区南池袋 府・県									
	情報登録日	平成 27 年 ○○ 月 ○○ 日 ※完了実績報告前に登録が必要です。									

次の①～③すべて満たしたうえで書類を作成して下さい。

①改修工事が完了

②「あんしん住宅情報提供システム」の登録が完了していること。

※ただし、協議会の承認を受けなければ補助金のお支払いが出来ません

③補助対象費用の支払いが完了

住所は郵便物などの宛名に使用する住居表示をご記入下さい。

2. 補助事業者

住宅情報等登録システムの住戸詳細の「最終更新日」を記入して下さい。

補助事業者	法人の代表者名		(フリガナ)										補助事業者印
	連絡先	住所 〔都道府県名より記入して下さい。〕	〒	1	3	5	-	0	0	0	0		印
		電話番号	0	3									
		緊急連絡先	0	9	0								
		FAX	0	3									
☒ 変更なし	E-mailアドレス	anshin△△@.com											

本人確認が印鑑証明による場合は印鑑証明書と同じ印鑑を押印してください↓

※法人の場合は法人印を押印

申請書に押印する印鑑は統一して下さい。また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と同じ印鑑を押印して下さい。

3. 交付決定額（消費税抜き）

↓右詰めで記入して

1 6 6 0 0 0 円

補助金交付決定通知書の補助金の交付決定額を記入して下さい。

4. 補助金申請額（消費税抜き）

↓右詰めで記入して下さい。（千円未満は切り捨て）

1 6 6 0 0 0 円

5. 補助金の振込み先【補助事業者名義の口座】

記入事項に間違いがある場合、入金に時間を要する場合がありますのでご注意ください。

金融機関名	(カガナ) □□ギンコウ
	□□銀行
支店名	(カガナ) △△シデン
	△△支店
銀行番号※	○ ○ × ○
支店コード※	△ △ ○
預貯金種類	☒ 普通 ☐ 貯蓄 ☐ 当座
本人口座名義	(カガナ) アンシン タロウ
	あんしん 太郎
口座番号※	× ○ ○ × ○ △ △

※銀行番号、支店コード、口座番号は、右詰めで記入して下さい。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成27年度】完了実績報告書

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：1-2】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

6. 事務連絡先の概要（応募・交付申請時と代行申請者が異なる場合、新たな委任状を添付のこと）

本人確認が印鑑証明による場合は印鑑証明書と同じ印鑑を押印してください↓
※法人の場合は法人印を押印

事務 連 絡 先	担当者	氏 名	(フリガナ) コウジ イチロウ 工事 一郎															代行 申 請 者 印	※法人の場合は法人印を押印
	所 属	法人名	(フリガナ) カブシキガイシャ○○ 株式会社○○																
		部署・役職	リフォーム部																
	連絡先	住 所	〒		1	0	3	-	0	0	2	7						申請書に押印する印鑑は統一して下さい。 また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と同じ印鑑を押印して下さい。	
		（都道府県名より記入して下さい）	東京		都・道		府・県		中										
		電話番号	0	3															
		☐ 変更なし	緊急連絡先	0	9	0													
		FAX	0	3								3	1	2	3	-	5		5
		E-mailアドレス																	
	個人の場合	本人確認ができる書類※	☐ 運転免許証の写し ☐ 日本国パスポートの写し ☐ 在留カードまたは特別永住者証明書の写し ☐ 印鑑証明 ☐ 健康保険被保険者証（健康保険証）または後期高齢者医療被保険者証の写し ☐ 住民票の写し																
法人の場合	法人の実在確認ができる書類※	☒ 商業登記の現在事項証明書（履歴事項証明書でも可） ☐ 法人印の印鑑証明																	

7. 建物所有者の概要（申請時と変更がない場合は、印変更なしにチェックを入れて下さい。）

応募交付申請時と変更がない場合は、印変更なしにチェックを入れて下さい。

本人確認が印鑑証明による場合は印鑑証明書と同じ印鑑を押印してください↓
※法人の場合は法人印を押印

建物 所 有 者 （共有者含む）	建物所有者	氏名又は法人名																建物 所 有 者 印	※法人の場合は法人印を押印
		法人の代表者名	(フリガナ)																
		(役職)																	
	連絡先	住 所	〒					-											申請書に押印する印鑑は統一して下さい。 また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と同じ印鑑を押印して下さい。
		（都道府県名より記入して下さい）	府・県																
		☐ 変更なし	電話番号																
	個人の場合	本人確認ができる書類※	☐ 運転免許証の写し ☐ 日本国パスポートの写し ☐ 在留カードまたは特別永住者証明書の写し ☐ 印鑑証明 ☐ 健康保険被保険者証（健康保険証）または後期高齢者医療被保険者証の写し ☐ 住民票の写し																
法人の場合	法人の実在確認ができる書類※	☐ 商業登記の現在事項証明書（履歴事項証明書でも可） ☐ 法人印の印鑑証明																	

8. 対象住宅の転貸人（対象住戸の入居者への賃貸人が建物所有者と異なる場合に記入してください）

対象住宅の 転 貸 人	転貸人	氏名又は法人名	(フリガナ)															
	☐ 変更なし	法人の代表者名（役職）	(フリガナ)															
	連絡先	住 所	〒					-										
		（都道府県名より記入して下さい）	都・道		府・県													
	☐ 変更なし	電話番号																
添付書類※		☐ サブリースに係る確認書 交付申請要領の別添様式を使用してください。																

転貸人がある場合は、交付申請要領P25～P28「（別添）サブリースの場合の確認」の提出が必要です。

※交付申請時から変更なしの場合は添付書類等の提出は不要です。

（注）この用紙の入さは、日本工業規格A4とすること。

【平成27年度】完了実績報告書

対象工事番号

〇 〇 × × × × 〇 × × 〇

【完了様式：2－1A】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

改修工事等証明書

用途変更しない場合

本事業の対象となる改修工事を実施した「空家」について記入してください。

1. 改修工事の概要

枠線内に左詰めでご記入して下さい。

名称・棟番号	〇〇マンション			
改修工事の期間	着工日	平成〇〇年 ××月 〇×日	完了日	平成〇〇年 〇〇月 ××日

実際の工事期間を記入して下さい。

2. 対象住宅における空家戸数（用途変更しない場合）

総戸数

4

戸

のうち対象住宅戸数 A：

2

戸

3. 補助対象費用（改修工事費）

金額は円単位で記入して下さい。
(千円単位ではありませんのでご注意ください。)

の捨て・税抜で記載して下さい。

項目										備考
B 補助対象工事費（全体）				5	0	0	0	0	円	補助対象工事費（全体）の金額とします。
C B（補助対象工事費）× 1/3				1	6	6	0	0	円	
D A（対象住戸数）× 50万円			1	0	0	0	0	0	円	用途変更工事の有無により戸数毎の上限額が異なります。
E 補助申請額			1	6	6	0	0	0	円	CとDの金額のうち、低い方を記入する

※ 補助申請額は交付決定額を上回ることはできません。

4. 支払いを証する書類

支払い方法は、いずれかの方法しか認められません。

支払い方法	支払いを証する書類	備考
☒ 銀行等金融機関による振込	☐ 送金伝票あるいは振込伝票の写し (発行金融機関の印があるもの)	
	☐ A T M利用の際に発行されるご利用明細票の写し	
	☐ ネットバンキングによる振込みを証する書類及び当該取引が確認できる通帳の写し	
☐ ローン契約（金銭消費貸借契約）による支払い	☐ ①と②の両方が必要 ①信販会社から施工業者への支払いを確認できる書類の写し ②発注者と信販会社等の間で締結したローン契約書の写し	・クレジット支払いは不可 ・提携ポイント等、日本円でないものは不可

※1 支払いを証する書類とは、改修工事請負契約の発注者（申請者）から請負者（施工業者）へ工事代金を支払ったことが客観的に確認できる書類のことです。

当事者の名義以外の支払いは認められませんのでご注意ください。

また、当事者が容易に作成できると考えられる書類は、客観性の観点から支払いを証する書類とはなりません。

※2 現金支払い（領収書）は不可です。

対象工事番号

○

○

×

×

×

×

○

×

×

○

【完了様式：2－1B】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

改修工事等証明書

用途変更する場合

本事業の対象となる改修工事を実施した「空家」について記入してください。

1. 改修工事の概要

枠線内に左詰めで記入して下さい。

名称・棟番号	〇〇マンション			
改修工事の期間	着工日	平成〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日	完了日	平成〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

実際の工事期間を記入して下さい。

2. 対象住宅における空家戸数（用途変更する場合）

総戸数

4

戸

のうち対象住宅戸数 A：

2

戸

3. 補助対象費用（改修工事費）

金額は円単位で記入して下さい。

の捨て・税抜で記載して下さい。

項目										備考
B 補助対象工事費（全体）		1	0	1	0	0	0	0	円	補助対象工事費（全体）の金額とします。
C B（補助対象工事費）× 1 / 3		3	3	6	6	0	0	0	円	
D A（対象住戸数）× 100万円		2	0	0	0	0	0	0	円	用途変更工事の有無により戸数毎の上限額が異なります。
E 補助申請額		2	0	0	0	0	0	0	円	CとDの金額のうち、低い方を記入する

※ 補助申請額は交付決定額を上回ることはできません。

4. 支払いを証する書類

支払い方法は、いずれかの方法しか認められません。

支払い方法	支払いを証する書類	備考
☐ 銀行等金融機関による振込	☐ 送金伝票あるいは振込伝票の写し （発行金融機関の印があるもの） ☐ A T M利用の際に発行されるご利用明細票の写し ☐ ネットバンキングによる振込みを証する書類及び通帳の写し	
☒ ローン契約（金銭消費貸借契約）による支払い	☒ ①と②の両方が必要 ①信販会社から施工業者への支払いを確認できる書類の写し ②発注者と信販会社等の間で締結したローン契約書の写し	・クレジット支払いは不可 ・提携ポイント等、日本円でないものは不可

※1 支払いを証する書類とは、改修工事請負契約の発注者（申請者）から請負者（施工業者）へ工事代金を支払ったことが客観的に確認できる書類のことです。

当事者の名義以外の支払いは認められませんのでご注意ください。

また、当事者が容易に作成できると考えられる書類は、客観性の観点から支払いを証する書類とはなりません。

※2 現金支払い（領収書）は不可です。

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－2（1）】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

5. 改修工事の内容：空家（イ. バリアフリー改修工事）

申請空家毎に作成して下さい。

実施した改修工事の施工箇所等（工事チェック欄）に☑チェックし、あわせて工事内容を確認する書類（添付）に☑チェックし、書類等を添付した上で提出して下さい。
なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

部屋番号

101

※ 改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄）	工事内容を確認する書類（添付）
イ バ リ ア フ リ ー 改 修 工 事 （ 空 家 ）	手すりの設置 ただし、工事後対象住宅のバリアフリー性の要件となる場合は2箇所以上の対応が必要となる	☐ 便所 ☒ 浴室 ☐ 洗面所又は脱衣所 ☐ 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 ☐ 玄関、廊下又は階段	☒ 手すりの設置箇所毎の施工中及び工事後の写真 下地補強を行った場合は当該部分を施工中写真として撮影して下さい。
	段差解消 既存の段差を無にする工事とする。ただし、勝手口等は	☒ 勝手口等以外の出入口 ☐ 廊下の床 ☐ 勝手口等、上り	☒ 段差解消工事箇所毎の施工中及び工事後の写真 勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。
	補助対象工事は「施工部位等」及び「工事内容を確認する書類」に必ずチェックが必要です。チェックがない場合は補助対象外となりますので、ご注意下さい。		
	おむね入り ただし、浴室出入口は600mm以上。	☐ 廊下等	下さい。
	浴室の改良	☐ 床面積の増加（おむね1.8㎡以上及び短辺の内法寸法が1,200mm以上） ☐ 浴槽のまたぎ高さを低くする工事 ☐ 固定式の移乗台、踏み台等の設置 ☐ 水栓器具の改良（設置・交換）	☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真 床面積、浴槽のまたぎ高さは寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。 ☐ 施工した製品のカatalog等の写し
	便所の改良	☐ 床面積の増加（長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上） ☐ 座便式の便器に交換する工事 ☐ 座便式の便器の座高を高くする工事	☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真 床面積、浴槽のまたぎ高さは寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。
	出入口の戸の改良	☐ 開戸を引戸、折戸等に交換 ☐ 開戸のドアノブ交換 ☐ 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置	☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	階段の設置・改良 既存階段の撤去を伴うものに限る	☐ 階段	☐ 既存階段の撤去後の写真 ☐ 階段の勾配が緩和されたことが確認できる改修工事後の写真 踏面・蹴上に寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。
	転倒防止	☐ 便所 ☐ 浴室 ☐ 洗面所又は脱衣所 ☐ 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 ☐ 玄関 ☐ 廊下 ☐ 階段	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ 滑りにくい材料や製品であることや工法が確認できるカatalog等の写し ☐ 工事を実施する箇所毎の改修工事前、工事後の状況を撮影した写真

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-2(2)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

5. 改修工事の内容：空家（ハ、ニ）

申請空家毎に作成して下さい。

実施した改修工事の施工箇所等（工事チェック欄）に☑チェックし、あわせて工事内容を確認する書類（添付）に☑チェックし、書類等を添付した上で提出して下さい。

なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

居住支援協議会が認める工事内容の確認書類は、事前に管轄協議会に確認し、十分ご理解のうえ申請してください。

※ 改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄） 施工箇所を記入して下さい		工事内容を確認する書類（添付）
ハ	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事 建築基準法令に適合したもの	☐		☐ 賃貸住宅に用途変更する工事を実施したことが分かる施工中及び工事後の写真 ☐ 改修工事に係る完成図面
ニ	住宅の間取りの変更に係る工事	☐	空家	☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真 ☐ 改修工事に係る完成図面
	設備（台所・洗面等）の利便性向上に係る工事	☐	空	☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
補助対象工事は「施工部位等」及び「工事内容を確認する書類」に必ずチェックが必要です。 チェックがない場合は補助対象外となりますので、ご注意下さい。				
遮音工事		☐	空家	※上記のいずれかの書類を提出して下さい ☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	断熱性・気密性の向上に係る工事	☐	空家	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ 断熱性・気密性の性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい ☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	防犯性の向上に係る工事	☐	空家	☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前及び改修工事後の状況を撮影した写真
	照明や給湯器等の設備の高効率化工事	☐	空家	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい ☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
		☐	空家	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい ☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
		☐	空家	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい ☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真

※ 施工箇所は、施工する箇所の名称を記載するとともに、平面図に番号等に表示して下さい。

（注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成27年度】改修工事等証明書

対象工事番号									
--------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

【完了様式：2-2(3)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

5. 改修工事の内容：共用部分（イ. バリアフリー改修工事）

実施した改修工事の施工箇所等（工事チェック欄）に☑チェックし、あわせて工事内容を確認する書類（添付）に☑チェックし、書類等を添付した上で提出して下さい。

なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

※ 改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄）	工事内容を確認する書類（添付）
イ バ リ ア フ リ ー 改 修 工 事 （ 共 用 部 分 ）	手すりの設置	☐ 共用便所 ☐ 共用浴室 ☐ 共用の洗面所又は脱衣所 ☐ 共用の居室 ☐ 共用の玄関、廊下又は階段	☐ 手すりの設置箇所毎の施工中及び工事後の写真 下地補強を行った場合は当該部分を施工中写真として撮影して下さい。
	ただし、共用部分に設置するものは改修後の対象住宅のバリアフリー性の要件に含むことはできません		
	段差解消	☐ 共用廊下の床 ☐ 共用玄関・勝手口等、浴室出入口	☐ 段差解消工事箇所毎の施工中及び工事後の写真 勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。
	既存の段差を無にする工事とする。ただし、勝手口等は差を小さくする工事も含む。		
	廊下幅等の拡張	☐ 共用の出入口	☐ 廊下等の拡張箇所毎の施工中及び工事後の写真 寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。
	おおむね250mm以上に拡張する工事とする		
	ただし、共用		
	補助対象工事は「施工部位等」及び「工事内容を確認する書類」に必ずチェックが必要です。 チェックがない場合は補助対象外となりますので、ご注意ください。		
		☐ 浴槽のまたぎ高さを低くする工事 ☐ 固定式の移乗台、踏み台等の設置 ☐ 水栓器具の改良（設置・交換）	☐ 寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。 ☐ 施工した設備や製品のカatalog等の写し
	共用便所の改良	☐ 床面積の増加(長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上) ☐ 座便式の便器に交換する工事 ☐ 座便式の便器の座高を高くする工事	☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真 床面積、浴槽のまたぎ高さは寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。
	共用出入口の戸の改良	☐ 開戸を引戸、折戸等に交換 ☐ 開戸のドアノブ交換 ☐ 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置	☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	共用階段の設置・改良	☐ 階段	☐ 既存階段の撤去後の写真 ☐ 階段の勾配が緩和されたことが確認できる改修工事後の写真 踏面・蹴上に寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。
	既存階段の撤去を伴うものに限る		
	共用部分の転倒防止	☐ 便所 ☐ 浴室 ☐ 洗面所又は脱衣所 ☐ 居室 ☐ 玄関 ☐ 廊下 ☐ 階段	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ 滑りにくい材料や製品であることや工法が確認できるcatalog等の写し ☐ 工事を実施する箇所毎の改修工事前、工事後の状況を撮影した写真

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A 4とすること。

対象工事番号	☐	☐	☒	☒	☒	☒	☐	☒	☒	☐
--------	-----------------------	-----------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-----------------------	----------------------------------	----------------------------------	-----------------------

【完了様式：2-2(4)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

5. 改修工事の内容：共用部分（ロ、ハ、ニ）

実施した改修工事の施工箇所等（工事チェック欄）に☑チェックし、あわせて工事内容を確認する書類（添付）に☑チェックし、書類等を添付した上で提出して下さい。

なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

居住支援協議会が認める工事内容の確認書類は、事前に管轄協議会に確認し、十分ご理解のうえ申請してください。

※ 改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄） 施工箇所を記入して下さい		工事内容を確認する書類（添付）
ロ	耐震改修工事 昭和56年5月32日以前に着工された住宅について、現行の耐震基準に適合させるもの	☐		☐ 耐震改修工事証明書 完了様式6 ☐ 耐震改修工事を実施したことが分かる施工中及び改修工事後の写真 ☐ 改修工事に係る完成図面
ハ	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事 建築基準法令に適合したもの	☐		☐ 建築確認申請・完了検査済証の写し ☐ 賃貸住宅に用途変更する工事を実施したことが分かる施工中及び工事後の写真 ☐ 改修工事に係る完成図面
ニ	設備（台所・浴室・トイレ等）に係る工事	補助対象工事は「施工部位等」及び「工事内容を確認する書類」に必ずチェックが必要です。 チェックがない場合は補助対象外となりますので、ご注意下さい。		
	遮音性・防音性の向上に係る工事	☐	共用	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ 遮音性・防音性の性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい ☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	断熱性・気密性の向上に係る工事	☐	共用	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ 断熱性・気密性の性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい ☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
	防犯性の向上に係る工事	☐	共用	☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前及び改修工事後の状況を撮影した写真
	照明や給湯器等の設備の高効率化工事	☐	共用	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい ☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
		☐	共用	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい ☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真
		☐	共用	☐ 施工業者の発行する施工証明書 ☐ その他性能を証明する書類 ※上記のいずれかの書類を提出して下さい ☐ 工事を実施する箇所毎の施工中及び工事後の写真

（注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－3】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

証明年月日：	平成	○	○	年	×	×	月	○	○	日
--------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

施工証明書

完了様式2－2において☑チェックした下記の工事について、住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業の対象となる改修工事を行ったことを証明します。

☐ 国土交通大臣 建設業許可 いずれかに☑ ☒ (<u>東京</u>)知事 (<u>特-00</u>)第(<u>0</u>)号	印
工事施工者 <u>株式会社 ○○建築</u>	
代表取締役 <u>大工 力</u>	
所在地 <u>東京都中央区日本橋○-○-○</u>	
連絡先 <u>03-○○○○○-○○○○○</u>	

工事発注者	あんしん 太郎
建物名称・棟番号	○○マンション

分類	工事種別 (要件等)	施工箇所等（工事チェック欄） 空欄の場合は施工箇所を記入して下さい	対象住戸内 部屋名を列記	共用部分 具体箇所を列記
イ 改修工事 フリー	転倒防止	☐ 便所		
	☒ 交付申請要領（参考1） に合致した仕様	☒ 浴室	103	
		☐ 洗面所又は脱衣所		
		☐ 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室		
		☐ 廊下		
		☐ 階段		
ニ 認める 居住支援 協議会が	遮音性・防音性の向上に係る 工事			
	断熱 工事			
	照明や給湯器等の設備の 高効率化工事			
	居住支援協議会独自に定める 工事			

補助対象工事は「施工部位等」及び「工事内容を確認する書類」に必ずチェックが必要です。
チェックがない場合は補助対象外となりますので、ご注意下さい。
また、性能や施工状態を図面・写真等で証明することが難しい工事を明記してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A 4とすること。

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(1)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事－手すりの設置)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 便所 ☐ 浴室 ☐ 洗面所又は脱衣所	☐ 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 ☐ 玄関、廊下又は階段
------------------------------------	---	---	---

施工中の写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。 撮影者： ()
--------------------------	--------------------------------

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「手すり設置」施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。 撮影者： ()
--------------------------	--------------------------------

工事後の写真

「手すり設置」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○

○

×

×

×

×

○

×

×

○

【完了様式：2-4(2)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事－段差解消)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号

箇所番号

枚目／総枚数

枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

右欄のいずれかの施工箇所に
☑をしてください。☐ 空家☐ 共用部☐ 勝手口等以外の出入口☐ 廊下の床☐ 勝手口等、上り框、浴室出入口(空家)☐ 玄関・勝手口等、浴室出入口(共用部)

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「段差解消」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「段差解消」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(3)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事－廊下幅等の拡張)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 出入口 ☐ 廊下等
------------------------------------	---	--

（撮影日：平成 年 月 日	施工中の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
		撮影者：)

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「廊下幅等の拡張」施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

（撮影日：平成 年 月 日	工事後の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
		撮影者：)

工事後の写真

「廊下幅等の拡張」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2-4(4)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事－浴室の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 床面積の増加(おおむね1.8㎡以上及 び短辺の内法寸法が1,200mm以上) ☐ 浴槽のまたぎ高さを低くする工事	☐ 固定式の移乗台、踏み台等の設置 ☐ 水栓器具の改良(設置・交換)
------------------------------------	---	--	---

施工中の写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。 撮影者：)
--------------------------	------------------------------

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

「浴室の改良」施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※床面積の増加、浴槽のまたぎ高さは、寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。

工事後の写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。 撮影者：)
--------------------------	------------------------------

工事後の写真

「浴室の改良」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○

○

×

×

×

×

○

×

×

○

【完了様式：2－4(5)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事－便所の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号

箇所番号

枚目／総枚数

枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

右欄のいずれかの施工箇所に
☑をしてください。☐ 空家☐ 共用部☐ 床面積の増加(長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上)☐ 座便式の便器に交換する工事☐ 座便式の便器の座高を高くする工事

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

「便所の改良」施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※床面積の増加、座高の高さに関する場合は寸法がわかるようにメジャーを当てて撮影してください。

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「便所の改良」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(6)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事－出入口の戸の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 開戸を引戸、折戸等に交換 ☐ 開戸のドアノブ交換 ☐ 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置
------------------------------------	---	--

（撮影日：平成 年 月 日	施工中の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
撮影者：		）

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「出入口の戸の改良」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

（※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。）

（撮影日：平成 年 月 日	工事後の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
撮影者：		）

工事後の写真

「出入口の戸の改良」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

（※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。）

対象工事番号

○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(7)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事－階段の設置・改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号

箇所番号

枚目／総枚数

枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した既存階段撤去後及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

右欄のいずれかの施工箇所に
☑をしてください。☐ 空家☐ 共用部

既存階段撤去後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工箇所にチェックして下さい。

既存階段撤去後の写真

「階段の設置・改良」該当写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「階段の設置・改良」工事後写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号									
--------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

【完了様式：2－4(8)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (バリアフリー改修工事－転倒防止)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	----------------------	------	----------------------	----------------------	--------	----------------------	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 便所 ☐ 浴室 ☐ 洗面所又は脱衣所	☐ 浴室・便所・洗面所・脱衣所以 外の居室 ☐ 玄関	☐ 廊下 ☐ 階段
------------------------------------	---	---	--	--

（撮影日：平成 年 月 日	施工中の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
撮影者：（ ）		

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

「転倒防止」施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

（※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。）

（撮影日：平成 年 月 日	工事後の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
撮影者：（ ）		

工事後の写真

「転倒防止」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

（※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。）

対象工事番号

○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(9)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

工事写真 (耐震改修工事)

部屋番号

箇所番号

枚目／総枚数

枚

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

☒ 共用部

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工中の写真

「耐震改修」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「耐震改修」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(10)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真 (他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事)

部屋番号

箇所番号

枚目／総枚数

枚

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

右欄のいずれかの施工箇所に
☑をしてください。☐ 空家☐ 共用部

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「用途変更に伴う工事」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「用途変更に伴う工事」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○

○

×

×

×

×

○

×

×

○

【完了様式：2－4(11)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真

(住宅の間取り変更に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号

箇所番号

枚目／総枚数

枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所



空家

施工箇所を記入してください。

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工中の写真

「間取り変更に係る工事」 施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「間取り変更に係る工事」 工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(12)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真

(設備(台所・洗面等)の利便性向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号

箇所番号

枚目／総枚数

枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

☐ 空家☐ 共用部

施工箇所を記入してください。

施工箇所を記入して下さい。

右欄のいずれかの施工箇所に
☑をしてください。

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

「設備に係る工事」**施工中の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「設備に係る工事」**工事後の写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

対象工事番号

○

○

×

×

×

×

○

×

×

○

【完了様式：2－4(13)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真

(遮音性・防音性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号

箇所番号

枚目／総枚数

枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

☐ 空家

施工箇所を記入してください。

☐ 共用部

施工箇所を記入して下さい。

右欄のいずれかの施工箇所に
☑をしてください。

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

「遮音性・防音性に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「遮音性・防音性に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(14)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真

(断熱性・気密性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号

箇所番号

枚目／総枚数

枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所

☐ 空家

施工箇所を記入してください。

☐ 共用部

施工箇所を記入して下さい。

右欄のいずれかの施工箇所に、
図をしてください。

施工中の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日)

撮影者： /

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「断熱性・気密性に係る工事」施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日)

撮影者： /

工事後の写真

「断熱性・気密性に係る工事」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(15)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真

(防犯性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した工事前及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	施工箇所を記入してください。 施工箇所を記入して下さい。
------------------------------------	---	--

工事前の写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。 撮影者：)
--------------------------	------------------------------

施工箇所にチェックをして下さい。

工事前の写真

「防犯性の向上に係る工事」工事前の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真 (撮影日：平成 年 月 日)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。 撮影者：)
--------------------------	------------------------------

工事後の写真

「防犯性の向上に係る工事」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(16)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真

(照明や給湯器等の設備の高効率化工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中及び工事後の写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ☑をしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	施工箇所を記入してください。 施工箇所を記入して下さい。
------------------------------------	---	--

（撮影日：平成 年 月 日	施工中の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
撮影者：（ ）		

施工箇所にチェックして下さい。

施工中の写真

「設備の高効率化に係る工事」施工中の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

（※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。）

（撮影日：平成 年 月 日	工事後の写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
撮影者：（ ）		

工事後の写真

「設備の高効率化に係る工事」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

（※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。）

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－4(17)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

工事写真

(その他居住支援協議会が認める工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を実施したことがわかるように撮影した施工中又は工事前及び工事後の写真を貼り付けてください。

独自の工事内容		
施工箇所 右欄のいずれかに、☑をしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	施工箇所を記入してください。 施工箇所を記入して下さい。

施工中は工事前の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

施工箇所にチェックをして下さい。

施工中の写真

「協議会が認める工事」施工中は工事前の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事後の写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事後の写真

「協議会が認める工事」工事後の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号

○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：2－5】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

確認書

(建築士による応募・交付申請書に記載されている改修工事内容の適合確認)

当該報告について、次のとおり改修工事内容を確認し、応募・交付申請書に記載されている改修工事内容と適合することを証明します。

なお、改修工事内容に係る上記の証明について、補助金額の確定の際及び補助金の支払い後の現場検査等の結果、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解した上で、証明したものであることを確認します。

平成○○年 ××月 ○○日

(一級・二級・木造) 建築士登録番号：大臣登録 第○○○○○号

建築士の氏名：建築 正

建築士の連絡先：090-○○○○-○○○○

建築士事務所名：△△建築設計事務所

知事登録：○○知事登録 ○○○○ 号

所在地：東京都中央区日本橋○-○-○

連絡先：03-××××-○○○○

印鑑証明書
と同じ印鑑を
押して下さい。

印 ※1

対象建物を設計・工事監理することができる建築士による確認が必要です。

※2

申請内容の適合確認を必ず確認して下さい。

※1 印鑑証明と同一の印を押印して下さい。

※2 携帯電話等、日中連絡がとれる電話番号を必ず記入して下さい。

対象建物	名称・棟番号	○○マンション
	部屋番号	101,201
応募・交付申請書に記載されている改修工事内容と、実際の改修工事内容の適合確認 (確認し印を記入)	☒	現地において、改修工事の状況及び改修工事が完了していることを確認している。
	☒	その上で応募・交付申請書に記載されている改修工事内容 ^{※1} と、実際の改修工事内容が適合していることを確認している。
	☒	【完了（証明写真様式）】の改修工事前・施工中・工事完了後の改修工事箇所の写真について、実際の改修工事箇所のものであることを確認している。

※1 応募・交付申請時に提出した「工事請負契約に係る工事費内訳書の写し」や「補助対象工事費内訳書」に記載されてる工事箇所、仕様、数量のことをいう。

※2 改修工事内容を確認した建築士の印鑑証明書の写しを必ず添付して下さい。

※3 建築士が建築士事務所に登録している場合は、建築士事務所登録証明書の写しを必ず添付して下さい。

【完了様式：3-1】

対象住戸1戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の対象住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：3－2(1)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象住戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の対象住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

2. 改修工事後の対象住戸写真（1）

完了実績において、対象住戸に必要な設備の設置が確認できる現況写真を貼り付けて下さい。

入居者が決定していても撮影が必要です。写真は番号を付し、改修工事後の平面図と整合させて下さい。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号	申請空家毎に作成して下さい。	撮影日：平成	年	月	日
------	----------------	--------	---	---	---

写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。↓

居室の写真	写真番号
居室の写真 「居室」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。	

写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。↓

台所の写真	写真番号
台所の写真 「台所」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。 (※改修工事後の対象住戸には、台所を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意下さい。)	

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：3－2(2)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象住戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の対象住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

2. 改修工事後の対象住戸写真（2）

完了実績において、対象住戸に必要な設備の設置が確認できる現況写真を貼り付けて下さい。

入居者が決定していても撮影が必要です。写真は番号を付し、改修工事後の平面図と整合させて下さい。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号	申請空家毎に作成して下さい。	撮影日：平成	年	月	日
------	----------------	--------	---	---	---

写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。↓

水洗便所の写真	写真番号
水洗便所の写真 「水洗便所」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。 (※改修工事後の対象住戸には、水洗便所を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)	

写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。↓

収納設備の写真	写真番号
収納設備の写真 「収納設備」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。 (※改修工事後の対象住戸には、収納設備を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)	

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：3－2(3)】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象住戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の対象住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

2. 改修工事後の対象住戸写真（3）

完了実績において、対象住戸に必要な設備の設置が確認できる現況写真を貼り付けて下さい。

入居者が決定していても撮影が必要です。写真は番号を付し、改修工事後の平面図と整合させて下さい。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号	申請空家毎に作成して下さい。	撮影日：平成	年	月	日
------	----------------	--------	---	---	---

写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。↓

洗面設備の写真	写真番号
洗面設備の写真 「洗面設備」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。 (※改修工事後の対象住戸には、洗面設備を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)	

写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。↓

浴室の写真	写真番号
浴室の写真 「浴室」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。 (※改修工事後の対象住戸には、浴室を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)	

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：3－3】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象住戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の対象住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

3. 改修工事後の対象住戸写真（バリアフリー対応がなされている場合）

完了実績において、対象住戸に必要なバリアフリー対応がなされていることを確認できる写真を貼り付けて下さい。
入居者が決定していても撮影が必要です。写真は番号を付し、改修工事後の平面図と整合させて下さい。
改修後に所定のバリアフリー対応がなされていない場合、補助金を交付できませんのでご注意ください。

部屋番号	申請空家毎に作成して下さい。
------	----------------

改修工事において対応された内容	☐ 手すり設置	☐ 段差解消	☐ 廊下幅の確保
-----------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

↓写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。

箇所名	写真番号	撮影日：平成	年	月	日
撮影日は必ず記入して下さい。					
バリアフリー対応の写真 「バリアフリー対応」（手すり設置、段差解消、廊下幅の確保）がされている周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。					

↓写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。

箇所名	写真番号	撮影日：平成	年	月	日
バリアフリー対応の写真 「バリアフリー対応」（手すり設置、段差解消、廊下幅の確保）がされている周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。					

対象工事番号

×

×

×

×

×

×

【完了様式：4】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象住戸1戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

入居者決定報告書

住宅確保要配慮者あんしん推進事業について、**あんしん住宅確保要**
なお、本報告に虚偽の記載があった場合、また、入居対象者要件に適
することを誓約いたします。

申請書に押印する印鑑は統一して下さい。
また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と同じ
印鑑を押印してください。

記入日

平成

〇〇

年

××

月

〇〇

日

補助事業者 氏名又は法人:

あんしん 太郎

法人の代表者名（役職）

印

1. 入居者の決定状況

枠線内に左詰めで記入して下さい。

対象建物の名称・棟番号		(ﾌﾘｶﾞﾅ) 〇〇マンション 〇〇マンション	部屋番号	201
入居者の氏名		(ﾌﾘｶﾞﾅ) トウキョウ イチロウ 東京 一郎	契約した家賃(月額) ^{※1}	(管理費および共益費を除く家賃) 38,000 円
入居者の条件の適合確認	入居者の条件		入居者の条件適合を確認した書類の写し	
	共通 入居の際の月額収入 (円)		収入の確認 ☒ 源泉徴収票 ☐ 納税証明書 ☐ 罹災証明書等 ☐ 所得証明書 ☐ 年金振込通知書 ☐ その他 ()	
	控除額の確認 ☒ 住民票 ☐ 障がい者手帳等 ☐ 健康保険証 ☐ その他 ()		控除額の確認 ☐ 住民票 ☐ 障がい者手帳等 ☐ 健康保険証 ☐ その他 ()	
	入居者の属性 ※右欄のいずれかに ☑をしてください。	☐ 高齢者世帯	☐ 住民票 ☐ 障がい者手帳等 ☐ 健康保険証 ☐ 戦傷病者手帳 ☐ 被爆者手帳 ☐ 住民票	☐ 運転免許証 ☐ その他 () ☐ パスポートの写し ☐ 国立ハンセン病療養所等の長の発行する証明書 ☐ 永住帰国者証明書 ☐ その他 () ☐ その他 ()
		☐ 子育て世帯	☐ 住民票 ☐ その他 ()	☐ その他 ()
添付書類		☒ 賃貸借契約書の写し ☒ 転居後の住民票の写し ☒ 入居者の属性を確認した書類の写し ☒ 年間所得金額計算シート ☒ あんしん住宅情報システムの登録内容を出力した書類 ☒ 控除額計算シート		

※1 所管の居住支援協議会が定めている月額家賃上限額を超えることはできませんのでご注意下さい。

2. 世帯の年間所得金額合計

世帯において所得がある者				人数	人
	氏 名	続 柄	年間収入金額 (円)	年間所得金額 (円) ^{※2}	
1	東京 一郎	本人	3,800,000 円	2,500,000 円	
2	東京 花子	妻	300,000 円	0 円	
3			円	円	
4			円	円	
5			円	円	
①世帯において所得がある者全員の年間所得金額合計				2,500,000 円	

※2 世帯において所得がある者毎に年間所得金額計算シートを添付してください。

3. 控除額

②控除額の合計 ^{※3}	380,000 円
-----------------------	-----------

※3 世帯毎に控除額計算シートを添付してください。

4. 月額所得 ※居住支援協議会が認める基準以下であることを支援室のホームページで確認してください。

(①－②) 円 ÷ 12ヶ月	176,667 円
----------------	-----------

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成27年度】入居決定報告書

年間所得金額計算シート

対象建物の名称・棟番号	〇〇マンション
対象住戸(部屋番号)	201
世帯において所得のある者の氏名	△△ 〇〇

1. 給与所得による年間所得金額

(1) 下表により、就職時期などに応じ、年間総収入金額を計算。

就職時期など	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 現在の勤務先に前年1月1日以前から引き続き勤務している場合	前年分の年間総収入金額 (源泉徴収票の支払金額の欄に記載されている額)	3,800,000 円
② 現在の勤務先に前年1月2日以後に就職し、1年以上勤務している場合	勤務した翌月から12カ月間の総収入金額	
③ 現在の勤務先に就職してから1年に満たない場合	次により計算した金額 勤務した翌月から 申込み月の前月ま での総収入金額 円 - 円 × 12 + 円 = 円 勤務した翌月から申込み月の前月までの月数 ヶ月	
④ 現在の勤務先に就職してからまた給与(1カ月分)を受けていない場合	次により計算した金額 雇用条件にもとづき支給が 円 × 12 = 円	
年間総収入額		3,800,000 円

(2) 次に、(1) で計算した年間総収入金額の区分に応じて、年間給与所得金額を計算。

年間総収入金額の区分	年間給与所得金額
651,000円未満	年間給与所得金額＝〇
651,000円以上 1,619,000円未満	年間総収入金額－650,000円＝年間給与所得金額
1,619,000円以上 1,620,000円未満	年間給与所得金額＝969,000円
1,620,000円以上 1,622,000円未満	年間給与所得金額＝970,000円
1,622,000円以上 1,624,000円未満	年間給与所得金額＝972,000円
1,624,000円以上 1,628,000円未満	年間給与所得金額＝974,000円
1,628,000円以上 1,804,000円未満	年間総収入金額を4000で割り、その答えの1円未満を切り 捨てた後に4000を掛け戻して
1,804,000円以上 3,604,000円未満	AX0.6＝年間給与所得金額 AX0.7－180,000円＝年間給与所得金額
3,604,000円以上 6,600,000円未満	AX0.8－540,000円＝年間給与所得金額
6,600,000円以上 10,000,000円未満	年間総収入金額×0.9－1,200,000円＝年間給与所得金額
10,000,000円以上	年間総収入金額×0.95－1,700,000円＝年間給与所得金額

給与所得による年間所得金額 (A) 2,500,000 円

2. 年金所得による年間所得金額

(1) 下表により、年金の受給期間に応じ、年間総収入金額を計算。

年金の受給期間	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 1年以上引き続き年金を受給している場合	前年分の支払年金額。 (年金額の改定があった場合は、改定通知書の支払年金額) ※2種類以上の課税対象年金を受給している場合は、その合計支払年金額	
② 年金を受給してから1年に満たない場合	年金証書の支払年金額。 (年金額の改定があった場合は、改定通知書の支払年金額) ※2種類以上の課税対象年金を受給している場合は、その合計支払年金額	
年間総収入額		
年齢		歳

(2) 次に、「年齢区分」及び「1 で計算した年間総収入金額」の区分に応じて、年間年金所得金額を計算。

年齢区分	年間総収入金額の区分	年間年金所得金額
65歳以上	1,200,000円以下	年間給与所得金額＝〇
	1,200,001円以上 3,299,999円以下	年間総収入金額－1,200,000円＝年間年金所得金額
	3,300,000円以上 4,099,999円以下	年間総収入金額×0.75－375,000円＝年間年金所得金額
	4,100,000円以上 7,699,999円以下	年間総収入金額×0.85－785,000円＝年間年金所得金額
	7,700,000円以上	年間総収入金額×0.95－1,555,000円＝年間年金所得金額
64歳以下	700,000円以下	年間給与所得金額＝〇
	700,001円以上 1,299,999円以下	年間総収入金額－700,000円＝年間年金所得金額
	1,300,000円以上 4,099,999円以下	年間総収入金額×0.75－375,000円＝年間年金所得金額
	4,100,000円以上 7,699,999円以下	年間総収入金額×0.85－785,000円＝年間年金所得金額
	7,700,000円以上	年間総収入金額×0.95－1,555,000円＝年間年金所得金額

年金所得による年間所得金額 (B) 0 円

3. その他の所得による年間所得金額

(1) 下表により、開業等の時期に応じ、年間総収入金額(＝年間所得金額)を計算。

開業の時期	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 前年1月1日以前から 引き続き同じ事業をし ている場合	前年分の年間所得金額	
② 前年1月2日以後に 現在の事業を始めた場 合	事業を始めた翌月からの所得金額により計算した額	

その他の所得による年間所得金額 (C)

4. 年間所得金額

(A+B+C)

年間所得金額計算シート

対象建物の名称・棟番号	〇〇マンション
対象住戸(部屋番号)	201
世帯において所得のある者の氏名	△△ 〇〇

1. 給与所得による年間所得金額

(1) 下表により、就職時期などに応じ、年間総収入金額を計算。

就職時期など	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 現在の勤務先に前年1月1日以前から引き続き勤務している場合	前年分の年間総収入金額 (源泉徴収票の支払金額の欄に記載されている額)	300,000 円
② 現在の勤務先に前年1月2日以後に就職し、1年以上勤務している場合	勤務した翌月から12カ月間の総収入金額	
③ 現在の勤務先に就職してから1年に満たない場合	次により計算した金額 勤務した翌月から申込み月の前月までの総収入金額 賞与 円 - 円 × 12 + 円 = 円 勤務した翌月から申込み月の前月までの月数 ヶ月	
④ 現在の勤務先に就職してからまた給与(1カ月分)を受けていない場合	次により計算した金額 雇用条件にもとづき支給が 円 × 12 = 円	
年間総収入額		300,000 円

(2) 次に、(1) で計算した年間総収入金額の区分に応じて、年間給与所得金額を計算。

年間総収入金額の区分	年間給与所得金額
651,000円未満	年間給与所得金額＝〇
651,000円以上 1,619,000円未満	年間総収入金額－650,000円＝年間給与所得金額
1,619,000円以上 1,620,000円未満	年間給与所得金額＝969,000円
1,620,000円以上 1,622,000円未満	年間給与所得金額＝970,000円
1,622,000円以上 1,624,000円未満	年間給与所得金額＝972,000円
1,624,000円以上 1,628,000円未満	年間給与所得金額＝974,000円
1,628,000円以上 1,804,000円未満	年間総収入金額を4000で割り、その答えの1円未満を切り捨てた後に4000を掛け戻して AX0.6＝年間給与所得金額
1,804,000円以上 3,604,000円未満	AX0.7－180,000円＝年間給与所得金額
3,604,000円以上 6,600,000円未満	AX0.8－540,000円＝年間給与所得金額
6,600,000円以上 10,000,000円未満	年間総収入金額×0.9－1,200,000円＝年間給与所得金額
10,000,000円以上	年間総収入金額×0.95－1,700,000円＝年間給与所得金額

給与所得による年間所得金額 (A) 0 円

2. 年金所得による年間所得金額

(1) 下表により、年金の受給期間に応じ、年間総収入金額を計算。

年金の受給期間	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 1年以上引き続き年金を受給している場合	前年分の支払年金額。 (年金額の改定があった場合は、改定通知書の支払年金額) ※2種類以上の課税対象年金を受給している場合は、その合計支払年金額	
② 年金を受給してから1年に満たない場合	年金証書の支払年金額。 (年金額の改定があった場合は、改定通知書の支払年金額) ※2種類以上の課税対象年金を受給している場合は、その合計支払年金額	
年間総収入額		
年齢		歳

(2) 次に、「年齢区分」及び「1 で計算した年間総収入金額」の区分に応じて、年間年金所得金額を計算。

年齢区分	年間総収入金額の区分	年間年金所得金額
65歳以上	1,200,000円以下	年間給与所得金額＝〇
	1,200,001円以上 3,299,999円以下	年間総収入金額－1,200,000円＝年間年金所得金額
	3,300,000円以上 4,099,999円以下	年間総収入金額×0.75－375,000円＝年間年金所得金額
	4,100,000円以上 7,699,999円以下	年間総収入金額×0.85－785,000円＝年間年金所得金額
	7,700,000円以上	年間総収入金額×0.95－1,555,000円＝年間年金所得金額
64歳以下	700,000円以下	年間給与所得金額＝〇
	700,001円以上 1,299,999円以下	年間総収入金額－700,000円＝年間年金所得金額
	1,300,000円以上 4,099,999円以下	年間総収入金額×0.75－375,000円＝年間年金所得金額
	4,100,000円以上 7,699,999円以下	年間総収入金額×0.85－785,000円＝年間年金所得金額
	7,700,000円以上	年間総収入金額×0.95－1,555,000円＝年間年金所得金額

年金所得による年間所得金額 (B) 0 円

3. その他の所得による年間所得金額

(1) 下表により、開業等の時期に応じ、年間総収入金額(＝年間所得金額)を計算。

開業の時期	年間総収入金額の計算のしかた	年間総収入金額
① 前年1月1日以前から 引き続き同じ事業をし ている場合	前年分の年間所得金額	円
② 前年1月2日以後に 現在の事業を始めた場 合	事業を始めた翌月からの所得金額により計算した額	円

その他の所得による年間所得金額 (C) 円

4. 年間所得金額

(A+B+C) 円

控除額計算シート

対象建物の名称・棟番号	〇〇マンション
対象住戸（部屋番号）	201

入居世帯の状況に応じて、下表により、控除額を計算。

控除の種類		控除対象となる方	控除額の計算	控除額
同居及び 扶養親族控除		入居しようとする親族（本人を除く） 及び遠隔地扶養親族	38万円／人 × 1 人 =	38 万円
特別 控除	寡婦（夫） 控除	次に該当する方 ・ 夫と死別、離婚した後婚姻をしていない方又は夫の生死が明らかでない方で、扶養親族のある方 ・ 夫と死別した後婚姻をしていない方又は夫の生死が明らかでない方で、年間所得金額が500万円以下の方 ・ 妻と死別、離婚した後婚姻をしていない方又は妻の生死が明らかでない方で、生計を一にする子を扶養し、年間所得金額が500万円以下の方 (※左記に該当する方の所得金額が27万円未満の時は、その額×人数)	27万円／人 × 人 =	万円
	老人控除対象 配偶者控除	控除対象配偶者で、70歳以上の方	10万円／人 × 人 =	万円
	老人扶養控除	扶養親族で、70歳以上の方		
	特定扶養控除	扶養親族（配偶者を除く）で、16歳以	25万円／人 × 人 =	万円
	障害者控除	次に該当する方 ・ 身体障害者手帳の交付を受けている方 ・ 戦傷病者手帳の交付を受けている方 ・ 知的障害者更生相談書等により知的障害者と判定された方 ・ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方など	27万円／人 × 人 =	万円
	特別障害者 控除	次に該当する方 ・ 身体障害者手帳の交付を受けている方で1級又は2級に該当する方 ・ 戦傷病者手帳の交付を受けている方で特別項症から第3項症までに該当する方 ・ 知的障害者更生相談書等により重度の知的障害と判定された方など ・ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方で1級に該当する方など	40万円／人 × 人 =	万円

控除額の合計 万円

支 払 い 請 求 書

請求者は、申請者になります。

請求額 金

			1	6	6	0	0	0
--	--	--	---	---	---	---	---	---

 円

ただし、住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業補助金として、
上記の金額を請求いたします。

平成

○	○
---	---

 年

×	×
---	---

 月

○	○
---	---

 日

↑完了様式：1－1 申請日と同じ日付を記入してください。

住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業実施支援室 殿

↓申請者の住所をご記入ください。

請求者 住 所 東京都江東区東陽○－○－○

法人名

氏 名
(代表者名) あんしん 太郎

印

完了様式：1－1と同じ印を押印してください。↑

対象工事番号

○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

↑「補助金交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

振込先、口座名義、口座番号などは、別紙完了実績報告書記載のとおりです。

申請書に押印する印鑑は統一して下さい。
また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と同じ印鑑を押印してください。

対象工事番号	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【完了様式：6】

↑「交付決定通知書」に記載の番号を忘れずに記入して下さい。

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

耐震改修工事証明書

建物名称： ○○マンション
所在地： 東京都○○区○○ △-△-△
規模： 地下 0 階、地上 5 階、塔屋 0 階
構造種別： （木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造）
※該当する構造種別を囲んでください。

上記建物の耐震改修工事については、既存建築物の耐震改修後の耐震診断が「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号、改正平成17年法律第120号）」及び同法第4条の規定に基づく「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的方針（平成18年国土交通省告示第184号）」の「（別添）建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項」に照らし、所要の耐震性能を有していることを証明いたします。

なお、補助金額の確定の際及び補助金の支払い後の現場検査等の結果、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解した上で、証明したことを確認します。

記

平成○○年 ○×月 ××日

（一級・二級・木造）建築士登録番号： 大臣登録 第○○○○○○号

建築士の氏名： 建築 正

建築士の連絡先： 090-○○○○-○○○○

建築士事務所名： △△建築設計事務所

知事登録： ○○知事登録 ○○○○ 号

所在地： 東京都中央区日本橋○-○-○

連絡先： 03-××××-○○○○

対象建物を設計・工事監理することができる建築士による確認が必要です。

印鑑証明書
と同じ印鑑
を押して下
※

※2

※当該建築物を設計することができる資格を有する者が証明すること

※1 印鑑証明と同一の印を押印して下さい。

※2 携帯電話等、日中連絡がとれる電話番号を必ず記入して下さい。

住戸 詳細

各協議会の承認日になります。

添付⑩

申請者・住棟ID	A120007	公開日	2015年08月29日
住戸番号	001	最終更新日	2015年08月29日

■住戸情報

住戸番号	101号
補助事業の活用	あんしん居住推進事業 民間住宅セーフティネット事業
改修工事 (予定を含む)	竣工年月日 状況
間取り	2K+2DK+1LDK
住戸面積	その他の
開口部の方位	
月額家賃	
共益費・管理費	
敷金	
敷金以外の一時金	名目 金額
保証人の要否	
間取り図	

完了様式1-1「**情報登録日**」の日付になります。

各申請住戸毎に出力して下さい。

※添付⑩「あんしん住宅情報提供システム登録内容出力した書類」は、あんしん住宅情報提供システムに登録した**住戸詳細**になります。

※申請者サイトの各住戸詳細のページにある「印刷用ページ」で表示したページを印刷された物になります。

間取り図や写真の貼り付けをおこなってください。
閲覧者が問い合わせしやすくなります。

	写真1	キャプション: 居間 画像: 
	写真2	キャプション: 洋室 画像: 
	写真3	キャプション: 台所 画像: 
	写真4	キャプション: 浴室 画像: 
	写真5	キャプション: トイレ 画像: 
	写真6	

			
	写真7		
住宅設備の有無	水洗便所 ※1	あり	専用
	洗面設備 ※1	あり	共用
	台所 ※1	あり	共用
	浴室 ※1	あり	共用
	収納 ※1	あり	共用
	エアコン ※1	予定あり	専用
	室内洗濯機置場 ※1	予定あり	専用
バリアフリー性能	ニカ所以上の 手すり設置の有無	あり	専用
	屋内の段差解消 の有無	※2	なし 共用
	車いすで通行可能な 廊下幅の有無	なし	共用
	エレベーターの有無	なし	共用
耐震性能	洋式便所の有無	なし	専用
	着工日が昭和56年	5月31日以前	
その他の性能	耐震診断及び耐震改修の実施 ※3	耐震性能あり	
	省エネルギー性能 (窓の断熱化など)	特になし	
	防音・遮音性能	特になし	
PR情報など	安全対策 (事故防止設備など)	特になし	
		近くに公園があり環境が良い	

※1 住戸情報の「補助事業の活用」で「あんしん居住推進事業」が「活用しない」を選択されている場合のみ「なし」の選択が可能です。
 ※2 住戸情報の「補助事業の活用」で「あんしん居住推進事業」が「活用する」を選択されている場合は、これら3項目の内で何れかの選択が必須です。
 ※3 住戸情報の「補助事業の活用」で「あんしん居住推進事業」が「活用する」を選択されている場合で着工日が昭和56年5月31日以前の場合は必須です。

■問合せ先

氏名又は名称	ふりがな	かぶしきがいしゃあんしんふどうさん
	漢字	株式会社 あんしん不動産
	法人・個人の別	法人・団体
代表者 (法人の場合)	ふりがな	あんしんはなこ
	漢字	安心 花子
住所 (法人の場合は事業 所の所在地)	郵便番号	〒273 - 0003
	都道府県	千葉県
	区市町村	船橋市
	町名以下	□□町4-5-6
	電話番号	047-123-1111
担当者		安心 次郎
最寄り駅・バス停からの交通手段		〇〇駅から徒歩3分
ホームページURL		http://www.anshin-fudousan.jp

■補助事業申請

協議 会 等	指定情報	対象住戸や共用部分に台所、水洗便所、収納設備、洗面設備、浴室を設置する工事	
申請 者	氏名又は名称	ふりがな	あんしんたろう
		漢字	安心 太郎
		法人・個人の別	

事務 代 行 者	代表者 (法人の場合)	ふりがな	個人
		漢字	
	住所 (法人の場合は事業 所の所在地)	郵便番号	〒273 - 0001
		都道府県	千葉県
		区市町村	船橋市
		町名以下	〇〇町1-2-3
		電話番号	047-123-3456
	担当者	氏名	安心 太郎
	事務代行者の活用		活用する
	氏名又は名称	ふりがな	かぶしきがいしゃあんしんふどうさん
		漢字	株式会社 あんしん不動産
		法人・個人の別	法人・団体
	代表者 (法人の場合)	ふりがな	あんしんはなこ
		漢字	安心 花子
	住所 (法人の場合は事業 所の所在地)	郵便番号	〒273 - 0003
		都道府県	千葉県
		区市町村	船橋市
町名以下		□□町4-5-6	
	電話番号	047-123-1111	
担当者	氏名	安心 次郎	

■入居情報

入居状況	入居可不可	入居可
	入居不可理由 ※1	
	入居可能予定日	2015年10月10日 から
入居対象者の条件		要配慮者を拒まない(一般世帯も可)
入居者に関する情報 (個人情報) ※2	従前、住宅に困窮していた か否か	持家でない
	収入(月収)	130000 円
	住宅確保要配慮者属性	障害者
	子供年齢 ※3	歳

※1 入居可不可で「入居不可」を選択した場合は選択必須です。
※2 入居状況の入居可不可が「入居不可」を選択していて、入居不可理由が「入居中のため」を選択している場合は必須です。
※3 住宅確保要配慮者属性で「子育て世帯」を選択した場合は必須です。子供が複数の場合は最も低い年齢を入力してください。